

「エンターテインメントの発想法」

(全 10 回・1 回 30 分)

小林雄次

第 9 回「生き生きとしたセリフを書く」

セリフの役割

- (1) キャラクターを観客に紹介する
- (2) 物語を説明・展開させる
- (3) キャラクター同士の関係性を見せる
- (4) 感情を描く

→ 1 つのセリフや会話に、上記の複数の役割が入っているかどうか、確認する。

良くないセリフの例

- (1) 長すぎるセリフ、説明セリフ
- (2) キャラクターに合っていないセリフ
- (3) 緩急のないセリフ

チェックポイント

- ・その言い回しはキャラクターに合っているか？
- ・全部言う必要があるか？
- ・映像に置き換えられないか？
- ・分割できないか？ リアクションを入れられないか？

【セリフの工夫】

- (1) 「ボケ」「ツッコミ」「ニヤケ」を意識する
- (2) 場所とシチュエーションを工夫する
- (3) 「……」を使いこなす

シャレードの重要性……セリフではなく映像で表現すること

セリフにもシャレードがある

本音を言えないシチュエーション、本音を言わないキャラクターを活かす

【課題】

「地球最後の日」を舞台に、本音を言えないキャラクターが登場する 1 シーンの映像シナリオ、または小説を書く。(800 字)